

グループインタビューの実施について

1 目的

豊岡市障害者福祉計画の策定にあたり、障害のある方をとりまく環境について、当事者及び家族・支援者等の意見を直接聞き、それらを重視した障害者福祉計画の策定と推進に努めるとともに、市民参画のひとつとして実施します。

2 実施時期

7月に実施することとします。

3 実施内容

①方法

- ・ 障害種別ごとにグループ分けをして各1回実施します。(1回当たり1時間半程度)
- ・ 進行役(ファシリテーター)は、事前にグループインタビューに通じている人を事務局から選任します。

②グループ分け

	グループ	参加者
A	肢体障害・内部障害者	障害者本人、家族、支援者等 15名以内
B	視覚障害者	
C	聴覚障害者	
D	知的障害者	
E	発達障害者	
F	精神障害者	
G	重症心身障害者	
H	障害児等	

・ 参加者について

- これまで市障害者福祉計画などで市と関係を持っている方だけではなく、可能な限り新しい方も参加していただきます。
- インタビューの活性化をねらい(意見が言いやすい環境に配慮し)、障害種別の既存の集まりや活動の機会を生かします。

4 進行内容

日常生活の中で、困っていることや感じている課題、また、期待することや課題解決のアイデア等について発言していただきます。

主な内容（テーマ）

- ▶ 障害のある方や家族の方が地域生活において困っていること
- ▶ 地域生活支援・就労支援で必要なこと
- ▶ 地域や市民に求めること（障害に関する理解、啓発等）
- ▶ 公的な施設の整備として必要なこと
- ▶ 障害福祉サービスについて（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ▶ コミュニケーション支援について（手話、音訳、障害特性を踏まえたコミュニケーション手段）
- ▶ 防災
- ▶ 療育・保育・教育機関に期待すること、必要な支援

5 グループインタビュー参加者の選出方法等

A 肢体障害・内部障害者

- ・基幹相談支援センターに参加者の推薦を依頼します。

B 視覚障害者

- ・視覚障害者協会に参加者の推薦を依頼します。
- ・支援者として、同行援護等を実施している事業所のヘルパーに依頼します。

C 聴覚障害者

- ・豊岡ろうあ協会に参加者の推薦を依頼します。
- ・支援者として、市に登録している手話通訳者、要約筆記者に依頼します。

D 知的障害者

- ・くすの木学校（市生涯学習課）等に参加者の推薦を依頼します。

E 発達障害者

- ・地域活動支援センターの～ら、クローバー豊岡ブランチ、トータルハーモニーに参加者の推薦を依頼します。

F 精神障害者

- ・精神障害者家族連合会、地域活動支援センターほおずきに参加者の推薦を依頼します。

G 重症心身障害者

- ・北但広域療育センターに参加者の推薦を依頼します。
- ・いつも通所されている北但広域療育センター内で実施します。

H 障害児等

- ・北但広域療育センターに参加者の推薦を依頼します。
- ・いつも通所されている北但広域療育センター内で実施します。

※ AからFグループの実施場所は、豊岡健康福祉センター等を予定しています。